

火山がつくった伊東の大地

伊豆半島ジオパーク伊東エリアの特徴は、何と言っても伊豆唯一の活火山、伊豆東部火山群がつくった、大室山・伊豆高原・城ヶ崎海岸などに代表される新鮮な地形と造形です。伊豆東部火山群は約15万年前から現在まで活動を続けている活火山であり、伊東エリアの大地は火山群の活動によりつくられた伊豆半島でもっとも新しい大地といえます。このような新しく新鮮な地形は、観光地として利用されるとともに、火山活動の様子をわかりやすく伝えてくれます。

「ジオ」の恵み ～温泉～



火山噴火をもたらすマグマは温度の高い地熱となり、地中深くしみこんだ地下水を温めます。この温められた地下水には、岩石の中から様々な成分が溶け出し、その後、温泉として地上に湧き出ます。伊東市の豊富な温泉も、ジオの恩恵を受けています。



大東館には、第二次世界大戦時に掘られた防空壕を利用した温泉施設があります。この防空壕は馬場平-鉢ヶ窪火口から噴出したスコリアの層の中に作られており、スコリア層の見事な断面が観察できます。このようなスコリア層の断面は、伊東市街の各所で見ることができます。

「ジオ」の恵み ～海～



伊東市内ジオサイト周辺の海は、プレートの沈み込みにより、陸から近い場所でも水深が深い場所があります。そのため、浅い場所に生息する魚や深海性の魚など幅広い種類が水揚げされ、これを活用した地元グルメも堪能できます。



ダイビングなどのマリンスポーツも、ジオの恩恵を受けています。日本有数のダイビングスポットである城ヶ崎、約4,000年前の大室山の噴火により形成されたその地形の下には、多種多様な魚たちが生息しています。

小室山 (こむろやま)

JR伊東駅よりバスで約15分



小室山は約1万5,000年前の噴火によってつくられたスコリア丘です。小室山から流れ出した溶岩は伊豆東部火山群で最大の5億3,000万トンで、小室山の四方にまるで花びらが開いたような形の分厚い溶岩台地を形作っています。山頂からは小室山の溶岩が作った川奈・吉田地区が一望でき、天城連山や伊豆七島など360度の景観を楽しめます。

一碧湖 (いっぺきこ)

JR伊東駅よりバスで約20分



一碧湖と沼池は約10万年前の噴火でできた火山湖です。この火山湖をつくった噴火は水とマグマが触れ合って生じた爆発的なものでした。その結果、火口内にも細かな火山灰がたくさん降り積もったため、水が抜けにくい環境が成立し、湖となりました。こうしてできた湖と湿気による独特な自然環境の中で、奥の樹木や野草が育まれています。

城ヶ崎海岸 (じょうがさきかいがん)

伊豆急行城ヶ崎海岸駅より徒歩で約25分



城ヶ崎海岸は、約4,000年前に噴火した大室山から大量の溶岩が相模灘に流れ込むことでできた岩石海岸で、柱状節理などの溶岩流が作り出した様々な造形と海が織りなす美しい景観を楽しむことができます。海岸沿いには、歩きやすいピクニックコース (全長3km) と美しい自然を残す自然研究路 (全長6km) が整備されています。

大室山 (おおむろやま)

伊豆急行伊豆高原駅よりバスで約20分



約4,000年前の噴火により作られた大室山は、伊豆東部火山群の中で最大のスコリア丘です。プリン型の山頂からは、このときに流れ出した溶岩が作りだした伊豆高原の地形をはじめ伊豆七島や天城連山などを望むことができます。この美しい山体は、毎年春に行われる山焼きによって保たれ、国指定天然記念物となっています。



One Point! 「スコリア」

粘り気の少ないマグマが火口から噴水のように吹き上がると、たちまち冷え固まって暗い色をした軽石になる。これがスコリアと呼ばれるものであり、スコリアが降り積もってできた山をスコリア丘という。



One Point! 「柱状節理」

溶岩が冷え固まる際に体積が収縮してできる角柱状の割れ目。断面は六角形が多い。この角柱は熱が奪われる方向に向かって伸びる性質がある。